



# すいどう通信

## ○能登半島地震災害発生 ～ 水道の被害深刻 ～

本年元旦に発生した能登半島地震は、震度7を記録した石川県をはじめとする北陸3県や新潟県など広範囲に及ぶ甚大な被害をもたらしました。

この度の地震災害により犠牲となられた方々に深く哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

地震災害の発生から現在に至るまで被災地では、懸命な復旧・復興に向けた活動が行われており、この間、当町は埼玉県及び県内の自治体と連携し被災地支援活動のため、2名の職員を石川県七尾市へ派遣して避難所運営支援業務を行いました。

今後も被災地の復旧・復興活動を支援してまいります。

### 水道の被害状況

この大規模な地震は、現地の水道施設へ大きな被害をもたらし、石川県の七尾市、輪島市、珠洲市、能登町及び内灘町の3市2町では、合計で最大約56,200戸が断水し、地震発生から約3か月が経過する時点においても、約9,260戸は断水(R6.3.26 現在 厚生労働省情報)が解除されず、被災者の方々は不便な生活を強いられ大変きびしい状況にありました。

この度の地震による長期間の断水となった要因の一つとして、水道基幹管路の耐震化の状況が考えられます。前述の3市2町のうち、最大断水戸数が約21,800戸と一番多い七尾市は、令和4年度末の水道基幹管路の耐震適合率が全国平均42.3%に対して21.6%であり、基幹管路の整備の遅れが影響したものと思われます。

### ○寄居町の水道管路の耐震化状況

令和4年度末

種別	延長(m)	耐震化延長(m)	耐震適合率(%)
基幹管路	48,870	32,310	66.1
配水支管	172,002	168,095	97.7
全体	220,872	200,405	90.7

当町の令和4年度末基幹管路の耐震適合率は、66.1%で全国平均42.3%及び埼玉県平均49.7%を上回っていますが、引き続き震災等に備え管路の耐震化を進める必要があります。

# 水道料金改定の検討について審議を進めています

～令和5年度寄居町水道委員会における審議の経過～

寄居町  
ホームページ



すいどう通信創刊号(令和5年秋冬号)でお知らせしました、寄居町水道委員会(坂本建設会長)は、水道料金改定の検討を進めており、令和6年3月までに計4回開催しました。ここでは令和5年度に行った審議の内容をお伝えします。なお、詳細な審議の内容や資料等は町ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

## 第1回 令和5年10月12日(木)開催

### 審議内容

- ・ 諮問書の提出⇒「水道料金改定の検討について」峯岸町長から坂本会長へ諮問書を提出
- ・ 寄居町水道事業の決算の概要について⇒令和4年度決算について説明
- ・ 寄居町水道事業について⇒寄居町水道事業の現状や課題の説明及び水道料金改定の必要性

### 審議結果

- ・ 次回以降の委員会において水道料金改定について審議継続

## 第2回 令和5年12月21日(木)開催

### 審議内容

- ・ 水道料金改定の基本方針について  
⇒水道料金改定の時期と改定率及び水道料金体系の選択

### 審議結果

- ・ 令和7年度に水道料金収入全体で22%の増加となる改定を行う
- ・ 水道料金体系は現行と同じ今までどおりの体系を選択(二部料金、口径別料金、逦増型料金)

※ 二部料金:基本料金(使用水量に関わらず発生)と従量料金(使用水量に応じて発生)を併用した料金体系  
口径別料金:水道メーターの口径に応じて水道料金が変動する体系  
逦増型料金:使用水量が多くなるほど段階的に料金が高くなる体系

## 第3回 令和6年2月8日(木)開催

### 審議内容

- ・ 水道料金表(案)について  
⇒第2回水道委員会の決定事項に沿った3つの料金パターンについて審議  
⇒基本水量20m<sup>3</sup>の廃止及び基本料金部分の改定率について

### 審議結果

- ・ 基本水量20m<sup>3</sup>の廃止
- ・ 基本料金部分の改定率10%(平成23年度基本料金10%値下げ改定前に戻す)
- ・ 料金表(案)を追加し次回検討する

※ 基本水量:基本料金に一定の水量を付与し、当該水量までは従量料金が発生しないようにする制度

## 第4回 令和6年3月21日(木)開催

### 審議内容

- ・ 水道料金表(案)について  
⇒第3回水道委員会で委員から出された意見等をもとに作成した料金パターンについて審議

### 審議結果

- ・ 水道料金表(案)の決定

# 令和6年度水道事業会計予算が可決されました

令和6年3月19日(火)に開催された寄居町議会(令和6年第1回定例会)において、令和6年度水道事業会計予算が原案通り可決されましたので、予算の内容について皆様にお知らせします。

## 1 業務の予定量

業務の予定量とは、水道事業の運営にあたり企業活動を行う基本的目標です。

番号	項目	説明	予定量
1	給水戸数	水道を使用している戸数	15,538戸
2	給水人口	水道を使用している人の数	31,389人
3	年間給水量	皆様に配る水の年間総量	4,594,849m <sup>3</sup>
4	一日平均給水量	年間給水量÷365日(閏年なら366日)	12,589m <sup>3</sup>
5	主要な建設改良事業費(税込)	水道施設整備・老朽管更新工事等の費用	1,024,916千円

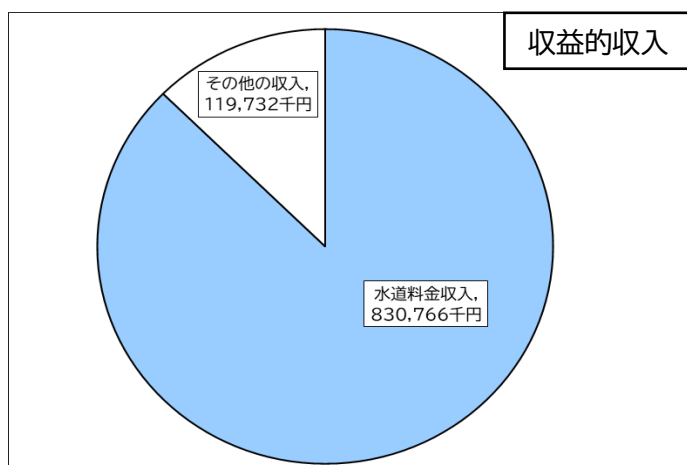
## 2 主な収入支出の内訳

水道事業会計予算は、主に水道料金等の収入と、主に水を作ったり配ったりするための支出である「収益的収入支出」と、浄水場等の施設や水道管等を整備・改良するための収入支出である「資本的収入支出」の二つに分かれています。

令和6年度水道事業会計予算の収益的収入支出及び資本的収入支出は、以下の表とグラフのとおりです。

### (1) 収益的収入支出(消費税込)

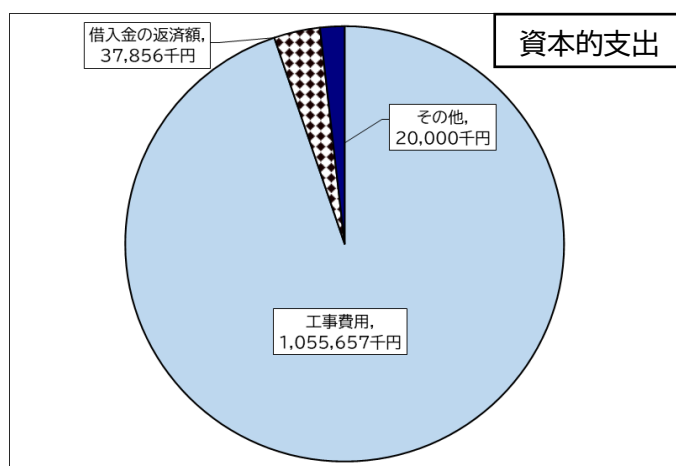
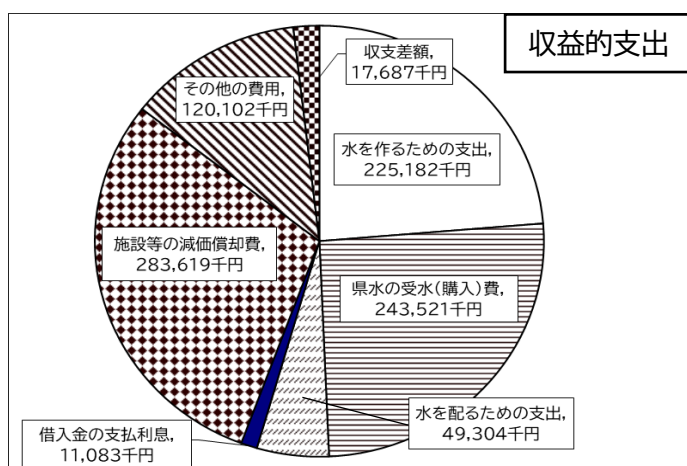
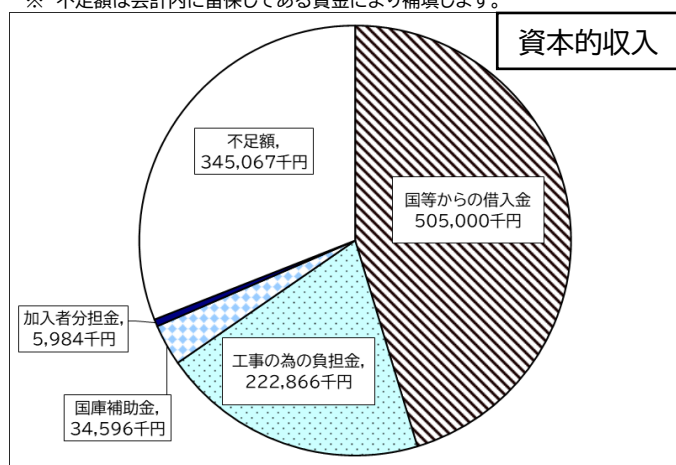
収益的収入	950,498千円
収益的支出	932,811千円
収支差額	17,687千円



### (2) 資本的収入支出(消費税込)

資本的収入	768,446千円
資本的支出	1,113,513千円
不足額※	345,067千円

※ 不足額は会計内に留保してある資金により補填します。



# すいどう Q&A

## Q.水道管路の耐震適合率とは？

**A.**【水道管路のうちダクトイル鋳鉄管などの耐震性の高い管路の割合です。】

- ・40年の耐用年数を経過した、耐震性の低い石綿セメント管などの老朽化した水道管を、順次更新しています。

主な耐震性の高い水道管

ダクトイル鋳鉄管

硬質塩化ビニル管

ポリエチレン管

など



GX形 呼び径300  
【出典】(一社)日本ダクトイル鋳管協会

耐震性の低い水道管



耐用年数を経過した  
石綿セメント管など

※ダクトイル鋳鉄管とは  
延性と韌性を持つ金属管です。

「ダクトイル」とは「引き延ばせる」「柔軟な」を意味します。

## Q.災害が発生すると水道が使えなくなりますか？

**A.**地震などの災害で、停電が起きたり浄水場や水道管などに被害が出れば、水道水を供給することが難しくなりますが、上下水道課では水の出なくなった地区に給水車を出動させるなど、万一の時でもできる限りの対応を行います。

しかしながら、この度の能登半島地震のような大規模な災害が発生すると、広範囲かつ長時間にわたる断水を余儀なくされることが考えられます。

災害でライフラインが止まったときでも、水は生きていくために必要なものです。

生命を維持するためには、一般に一人1日最低、飲料用などで3リットルの水が必要と言われています。

最低3日分として、一人あたり9リットルの水を市販の長期保存が可能なものなどで備蓄しておく必要があり、日常的に使用した分を買い足していく「ローリングストック」という方法がおすすめです。

このほか、防災についての情報を国や県、町のホームページなどで確認して、日頃から万一の備えを心がけてください。

埼玉県防災  
ポータルサイト



編集・発行 寄居町上下水道課

〒369-1292

埼玉県大里郡寄居町大字寄居1180番地1

○電話 048-581-1261

○FAX 048-581-7531

○メール zg121g@town.yorii.saitama.jp

・定期発行：年2回（春夏号・秋冬号）

・臨時発行：随時